

意識すべき重要な点は以下のとおりです。

・教職員

授業準備や各種文書のたたき台の作成などに生成 AI を利活用し、校務の効率化や働き方改革につなげることが期待されています。利活用の際は、生成 AI の回答はあくまでも参考の一つであることを認識し、最後は自分で判断し、成果物に自らの責任を持つ姿勢が重要です。

・児童・生徒

生成 AI は人間の能力を補助し、可能性を広げてくれる有用な道具にもなり得ることを理解しつつ、生成 AI に依存せず、自らの判断や考えを大切にできるようにすることが重要です。例えば、生成 AI で調べた情報をうのみにせず、ファクトチェックを行ったり、生成 AI で異なる考えを整理・比較したりすることにより、自らの頭で学びに生かす力が高められます。

・教育委員会

教育委員会が主導して制度設計や利活用の方向性を示した上で、各学校の実態に応じて柔軟な対応を行うことが重要です。また、研修を通じて教職員の理解を深めるなど、生成 AI を適切に利活用できる環境を整えることが必要です。

文部科学省は、今後の技術の進展や学校現場での取り組みの状況を踏まえ、必要に応じて改訂を行う方針です。

▼「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」(改訂版)
https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_001.pdf

◇◆ トピックス (2)
JAPET&CEC「2024 年度 教育 DX 推進フォーラム」が 2 月に開催
.....◆◇

「2024 年度 教育 DX 推進フォーラム」が
2 月 27 日、28 日に開催されます。

今年のテーマは「教育 DX で実現するみらいの教育」です。
生成 AI、校務 DX、NextGIGAなどをキーワードに、
魅力的なセミナーが多数開催されるほか、
最新教育 ICT 製品・サービスの紹介が用意されています。

27日には、文部科学省 初等中等教育局の寺島 史朗氏による
基調講演「GIGA スクール構想が拓く教育の未来」などが行われます。

28日には、JAPET&CEC 会長の山西 潤一氏をはじめとした、
有識者4名によるパネルディスカッション「教育DX 미래の教育」
などが予定されています。

ぜひ参加してみたいかがでしょうか。

詳細・申込は以下からご確認ください。

<https://2024-japet-cec-forum.eventcloudmix.com/entry>

<開催概要>

主 催：一般社団法人 日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）

日 程：2025年2月27日（木）9:45～17:30（開場 9:45）

教育ICT製品展示 9:45～17:30

28日（金）10:00～17:00（開場 10:00）

教育ICT製品展示 10:00～17:00

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟

参加費：無料

▼2024年度 教育DX推進フォーラム

<https://www.japet.or.jp/com-edu-forum/2024/>

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2025年1月6日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：11件 （2）誤公開：8件 （3）誤送信：3件

（4）誤配布：2件 （5）不正アクセス：2件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2024年12月は、合計26件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

（1）紛失・置き忘れ

大阪府 2024年12月6日 市立中学校 書類 248件

静岡県 2024年12月9日 県立高等学校 書類 182件

愛知県 2024年12月10日 市立小学校 書類 114件
兵庫県 2024年12月12日 市立小学校 書類 34件
山形県 2024年12月13日 県立高等学校 書類 約40件
北海道 2024年12月16日 市立保育園 SDカード 不明
山梨県 2024年12月20日 県立特別支援学校 USBメモリ 41件
長野県 2024年12月21日 市立小中学校 書類 26件
神奈川県 2024年12月24日 市立特別支援学校 書類 50件
大阪府 2024年12月25日 府立高等学校 書類 279件
愛知県 2024年12月26日 市立中学校 USBメモリ 753件

(2) 誤公開

宮城県 2024年12月18日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 276件
三重県 2024年12月18日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 不明
埼玉県 2024年12月19日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 4件
鹿児島県 2024年12月20日 小学校 インターネットサービス・アプリ 不明
東京都 2024年12月20日 私立大学 インターネットサービス・アプリ 1,683件
福岡県 2024年12月26日 市立中学校 インターネットサービス・アプリ 49件
大阪府 2024年12月26日 市立中学校 インターネットサービス・アプリ 72件
埼玉県 2024年12月27日 高等学校 インターネットサービス・アプリ 4件

(3) 誤送信

北海道 2024年12月20日 その他 書類 不明
山口県 2024年12月24日 その他 電子メール 24件
神奈川県 2024年12月24日 県立高等学校 電子メール 19件

(4) 誤配布

大阪府 2024年12月26日 府立高等学校 書類 2件
三重県 2024年12月28日 市教育委員会 書類 251件

(5) 不正アクセス

広島県 2024年12月16日 市立大学 パソコン、インターネットサービス・アプリ 3,150件
宮崎県 2024年12月17日 国立大学 インターネットサービス・アプリ、電子メール 19,274件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

大阪市ホームページ／静岡県ホームページ／ニュースサイト「毎日新聞」／NEWS WEB／北海道新聞デジタル／
大阪府ホームページ／Security NEXTNHK／宮城県公式ウェブサイト／三重県ウェブサイト／読売新聞オンライン／



□ 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム



◆ 新たな教育の時代 ◆

ISEN 委員長 山西 潤一

今から半世紀ほど前、コンピューターの教育利用が始まった初期、Apple コンピューターを開発した Steve Jobs は、自ら開発したコンピューターを知の自転車「Bicycle for the mind」と名付けました。個の理解度、学習速度に応じた指導にコンピューターを使うと同時に、コンピューターは子供が興味関心のあることを追求する道具であるべきとの考えです。自転車に乗れば、自分の力でどこまででも好きなところへ行くことができる。子供たちにとってのコンピューターは、自分の思いを形にする知の道具であるべきとの思いだと言われています。文部科学省の、「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」（令和3年）では、個別最適な学びについて「指導の個別化」と「学習の個性化」に整理されています。指導の個別化では、子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うこと。「学習の個性化」では、子供の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、探究において課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う等、教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供するとされています。GIGA スクール構想で、児童・生徒が一人1台端末を持つ時代になって、ようやく Jobs の知の自転車を乗りこなす子供たちの姿が現実のものとなってきました。みんなで自転車の楽しさを教えたいものです。

こうなると学校の教育方法も変わらざるを得ません。一つは指導の個別化です。個の理解度、学習速度に応じた指導にコンピューターを使うという考えは、上述したように、コンピューターの教育利用が始まった当初から言われてきたことです。1980年代には、児童・生徒の誤答分析やそれに基づく適切な指導助言をする機能を持つさまざまな学習コンテンツが多くの企業で開発されました。でもほとんど普及することはありませんでした。教育とは、教師が児童・生徒を教えるのが基本、コンピューターで学習なんて・・・という教育観だったのです。確か2005年、今から20年前のことだったと記憶しています。

文部科学省の地域・学校の特色等を活かした ICT 環境活用先進事例に関する調査研究班の座長をさせていただきました。

調査報告書を 2007 年に書いた時です。

今と全く同じ一人 1 台端末を児童・生徒が持って、調べ学習をしたり、発表したりというイラストを描かせていただきました。

まさに自律的な学びにコンピューターを活かす姿です。

報告書が発表されるや、「児童がコンピューターを持って学習するなんて・・・、あなたは教育が分かっていない」という批判の意見をたくさんもらいました。

「皆さんにはこれがコンピューターに見えますか？これはデジタルノートです。

授業の時には子供たち皆ノートを持っていますよね。どこが問題ですか？

アナログノートに比べて、大きく写したり、友達と意見交換したり容易にできますよ」と反論させていただいたことを思い出します。

新しい技術が教育に入るたびに、どうしても従来の価値観で皆ものを見てしまうのです。

David D.Thomburg 氏の著書 Edutrends2010 の中に、

新しい技術が教育に持ち込まれるたびに起こる批判的意見に関する面白い話が出てきます。

Boston カレッジの Stanley Bezuska 卿が過去 200 年にわたって調べたものだそうです。

18 世紀初め、それまでの石板に変わって紙が学習に持ち込まれた時。

「石板にチョークの粉を撒き散らさないで字を書くことができない子供が多くなった、紙がなくなったらどうするのか」という意見があったといいます。

「石板の方が学習に適する、いや紙の方が・・・」という

論争があったかどうかは定かではありませんが、

「デジタルがいい、いやアナログがいい・・・」という論争と

なんだか同じに見て取れるのです。

また、19 世紀初め、インクペンが使われていた時代、

子供たちには鉛筆を削ることはできない、

ペンとインクが鉛筆に変わることはないとの話もあったといいます。

まだまだ笑えるような内容がたくさん記載されています。

M.Proust はパラダイムに関して「本当の発見とは新しい土地を

を見つけることではなく、新しい目で見ることだ」と言いました。

2015 年、Michael Barber は 40 年ギャップ説を解き、

自分たちが教育を受けたのは 20 年前、子供たちが実社会で活躍するのは 20 年後、

そこには 40 年のギャップが・・・と。

個人的には、もっと長く、50 年、60 年のギャップがあると思うのです。

時代とともに技術は変わります。

技術の進化とともに、社会の様相も変わり教育のあり方も変わるのです。

昨年末だったか、某週刊誌の「デジタル教育で日本人がバカになる」との批判の記事が目につきました。

どうして、デジタルだアナログだと二項対立にしてしまうのか

甚だ疑問に感じたのは筆者だけではないでしょう。
批判的研究者の意見にも驚かされました。
アナログの価値観でデジタルを評価すればアナログに軍配が上がるでしょうし、
デジタルの価値観で評価すればデジタルに軍配が上がるのは当然です。
要は、既存の価値観で新しい技術を捉えるのではなく、
新しい価値観で捉えるべきではないでしょうか。
今の教育を受けている子供たちが大人になり、社会を担う人材になった時、
間違いなく言えるのはデジタル社会になっているということです。
そんな時代に求められる能力・資質を育てる教育が、今まさに始まっているのです。

GIGA スクール構想で、一人1台端末を国が準備したのは、
従来の ICT 活用の延長ではありません。
自律的に学ぶ子供を育てる、そのための道具なのです。
そのような学習環境のもとで教師の役割も変わります。
指導の個別化にせよ、学習の個性化にせよ、
一人一人の子供の学びに寄り添う教師の力量が求められるのは当然です。
デジタル学習環境、とりわけ EdTech や YouTube など、
興味関心や能力に応じたデジタル・リソースの充実も進んでいます。
AI 技術の教育利用も進みます。基礎基本を指導する AI 教師も出てくるでしょう。
「普通の教師は言わなければならないことをしゃべる、
良い教師は分かりやすいように解説する、優れた教師は自らやってみせる、
そして、本当に偉大な教師というのは生徒の心に火をつける」W.Arthur Ward の言葉です。
新たな教育の時代に向けて考えたいものです。

……◆◆ 【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」を公開 ◆◆……

ISEN では、昨年 11 月に「令和 5 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい
事故の発生状況」調査報告書（第 2 版）を Web 公開しました。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2/>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy/>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、

下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3/>